

PG12 サービス担当者会議と (自立支援)協議会の活用についてのまとめ

実践研修標準カリキュラムにおける講義・演習「サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ」の展開方法と講義・演習のポイントについて例示を交えつつ、解説する。

【講師・映像出演】

和洋女子大学家政学部家政福祉学科（解説）

准教授 高木 憲司

社会福祉法人唐池学園貴志園（演習統括）

園長 富岡 貴生

社会福祉法人星谷会 星谷学園（講義）

施設長・総合施設長 河原 雄一

社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団 七沢学園

副園長 青木 一男

社会福祉法人唐池学園 カビーナ貴志園

施設長 小川 陽

社会福祉法人唐池学園 貴志園 マーレ貴志園

地域生活支援課長 塩田 友紀

社会福祉法人はぐくむ会 はぐくみ園

施設長 志賀 信道

特定非営利活動法人綾瀬あがむの会 地域活動支援センターファミリー

所長 山口 明美

PG12 サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ(演習)

【1】概要(標準カリキュラム)

- 科目名： サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ
- 方法： 演習
- 時間： 110分
- 内容・目的

・サービス担当者会議や(自立支援)協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意識、ポイントについてグループワーク等による討議を通して、連携の在り方についてまとめを行う。

【2】都道府県研修での実施手順例と本研修映像の関係

【都道府県で実施する際の流れ】	→	【本研修映像では】
〔1〕 演習 110分		〔1〕 演習 50分
① 個人ワーク (20分)		① 個人ワーク (映像なし)
② グループ演習 (90分)		② グループ演習

※映像の時間は概ねの時間で記載

〔1〕 演習【110分】

① 個人ワーク【20分】

日頃の実践と講義の内容を照らし合わせて自己評価を行う。

※受講生が個別にワークシートに記入するものであるため、映像は省略されている。

② グループ演習【90分】

自己評価表をもとにグループで意見交換を行う。

※本来は複数の受講生の発表によるグループ演習であるが、映像には、1名分の発表について収録し、その展開方法例を示している。

【3】研修の展開方法

〔1〕 演習 (110分)

- ① 個人ワーク (20分) ※講義を受けながら各自記入する方法もある。

・講義を受けて、サビ児管として、相談支援専門員や関係機関との連携、担当者会議、事業所利用者の地域課題への対応(自立支援協議会への報告や参加)について、今後の対応を含め

て個人ワークを行う。

- ・個人ワークは、講義で扱った4つの視点について、【4】のワークシートに記入することで行う（ワークシートは厚生労働科学研究におけるモデル研修講義資料より）。
- ・受講生全員が各自記入する。

② グループ演習（90分）

- ・個人ワークで記入したものを報告（発表）し、グループ参加者から意見を求める。
- *映像では都道府県研修で実施する際の参考とするため、下記の通り、通常の研修より長めの時間配分としている。
- ・演習を統括する者は、グループ演習を開始する前に、グループワークの目的や展開方法について説明する。（小規模・分散化する場合は演習講師が統括者を兼ねる場合もある。）
- ・演習講師（ファシリテーター）は、受講生がグループワークの意見を踏まえ、今後のサビ児管業務の参考とできるようなグループ運営を行う。
※そのための場づくり等のため、適宜グラドルールの確認を行う。
- ・演習を遠隔化する場合も、上記と同等の方法により行う。
- ・解説等を行う際の視点

1) 関係機関との連携

サビ児管同士の連携（複数事業所を利用している場合や、児サービスから者サービスへ移行など）、学校や病院、就労等関係機関について、サビ児管が主体的になって取りまとめていくことの必要性について説明する。

2) 相談支援専門員との連携

サビ児管は、相談支援専門員との連携に当たって、利用者の状態の変化時に連絡をして対応を求めるのではなく、常に連絡を取り合って情報共有することで状態の変化にも柔軟に連携して対応することができることを説明する。

3) 担当者会議の開催依頼（出席）

サビ児管が相談支援専門員に担当者会議を開催することを求めたり、担当者会議での議論の内容や自身の役割等について事前に協議することの必要性について説明する。

4) サビ児管から見た地域課題への対応（自立支援協議会への報告等）

担当者会議を経て、事業所内では解決できない利用者のニーズを地域課題として捉え、相談支援専門員や所属の管理者（協議会に参加している場合）を通して協議会に報告することで、地域で共有し、改善に当たって協議するまでのプロセスを説明する。